

ふくい管路協ニユース

● いつも元気！ 福井の下水道 ●



公益社団法人 福井県下水道管路管理業協会

〒910-0006

福井県福井市中央1丁目19番地21号 キーファクレーションビル2F

TEL/FAX 0776-29-2805

<http://fukui-kanrokyo.jp>

E-mail fsma@proof.ocn.ne.jp

第27号

令和6年7月

下水道のレジリエンス強化に向けて

福井市上下水道局事業部
部長 南京 良幸

公益社団法人福井県下水道管路管理業協会の皆さま方におかれましては日頃より福井県内における下水道の健全な発展と施設の保全のためにご尽力頂いていることに対し、心から敬意を表し感謝申し上げます。

さて、本市の公共下水道は、昭和23年から事業に着手して70有余年、普及拡大に主眼を置いて事業を推進してきたところであり、令和5年度末での人口普及率は99%を達成し、今年度末には概成を迎える予定です。

一方で、耐用年数50年を超過した管路施設の割合は、管路施設全体の13%を締め、今後さらに老朽化施設の割合が急速に増加することが見込まれているため、令和7年度から「福井市下水道ストックマネジメント基本計画」に基づいた管路施設の改築、更新に本格的に取り組んでまいります。

また、今年元日に発生した令和6年能登半島地震では、多くの社会インフラが被害を受け、石川県内では、約350kmの下水道管路施設が被災し、特に震源に近い珠洲市においては、7割を超える管路施設が被災するなど、市民生活に深刻な影響を及ぼしています。

この地震被害に伴う石川県内における下水管渠二次調査に際しては、貴協会の皆さまも早々に現地入りし、調査に尽力されましたことに対し、改めて敬意を表するところです。

このような中、本市の地震対策の現状は、全国に先駆けて下水道整備事業に着手したことから、耐震化率が全国平均よりも低い状況にあります。本市の「福井市下水道管路施設地震対策基本計画」では、大規模な地震発生時において、下水道管路施設の被害を最小限に抑えることで、流下機能、交通機能を確保し、市民生活の安全を確保することとしており、まずは重要な幹線等の耐震化を優先して、取り組んでいるところです。

本市といたしましては、今後、老朽化施設の更新、並びに地震対策を重点事業として行ってまいります。これらの事業を計画的に推進するためには、貴協会の皆さまのお力添えが不可欠です。

また、国においては下水道事業の持続性を確保するために、民間の経営ノウハウや創意工夫を活用し、官民連携を推進していくこととしており、下水道施設のウォーターPPPの導入を推し進めています。

これからの貴協会に求められる役割は益々大きくなると予想され、維持管理の根幹を担う皆さまの知識と技術力が重要であると考えます。

最後になりますが、今後も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の一層のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

1. 調査研究・新技術推進事業

下水道管路管理マニュアル並びに 下水道管路管理積算資料の改訂に伴う説明会

開催日時 令和5年6月20日(火) 13時より

開催場所 福井県生活学習館「ユウ・アイふくい」 3F映像ホール

講師 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
常務理事 井坂 昌博 氏

今回の改訂では、潜行目視調査の最小入管口径(φ800mm)の引き上げや、巡視・点検調査の職種変更を行ったほか、各種作業の標準作業量を適正なものに修正するとともに、ドローンの適用性が掲載されました。



要望活動

県・市・町への要望活動を実施しました。

開催日時 令和5年7月20日(木)21日(金)

- 要望事項**
1. 労働費アップ、工期の設定についてのお願い
 2. 労働環境と外国人労働者の現場採用についてのお願い
 3. 発注の平準化についてのお願い



2. 技術者育成・普及啓発事業

福井県土木部河川課と9市との意見交換会及び フォローアップセミナー

開催日時 令和5年10月10日(火) 10時より

開催場所 福井市アオッサ6F研修室

●意見交換会

コーディネーター

公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
常務理事 井坂 昌博 氏

パネラー

9市 部長・課長・担当者
福井県下水道管路管理業協会会員

アドバイザー

福井県土木部河川課 五十嵐 謙一 参事

県・市・町および協会員45名参加の元、下水道管路施設維持管理の現状と課題などをテーマに活発な意見交換が行われました。

●フォローアップセミナー

講師

公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
常務理事 井坂 昌博 氏

災害協定自治体フォローアップ研修



令和5年度 福井県下水道情報伝達訓練実施要領 令和5年11月2日（木）実施

福井県で災害が発生した際の支援要請手順等の合同情報連絡を実施。

想定内容

- 災害発生日時 …… 令和5年11月2日（木） 9時00分
- 災害発生要因 …… 地震（震度5強）
- 被災自治体 …… 小浜市、池田町、南越前町、美浜町、若狭町
- 応援自治体 …… 上記以外の市町等
- 被災施設 …… 被災自治体が想定

3. 災害対応・危機管理事業

能登半島地震での災害復旧及び支援活動（実際に現場対応しました）

- 災害対応 福井県あわら市 2次調査（TVカメラ調査実施）
- 災害支援派遣 日本下水道管路管理業協会より支援要請を受け能登地区へ
令和6年3月4日（月）からチーム派遣



4. 街頭広報活動事業

下水道出前講座の実施

- 令和5年6月28日（水）…………… 坂井市立鳴鹿小学校1クラス
令和5年6月29日（木）…………… 坂井市立磯部小学校3クラス
令和5年10月26日（木）…………… 永平寺町立松岡小学校2クラス
令和5年10月26日（木）…………… 鯖江市立中河小学校1クラス
令和5年10月27日（金）…………… あわら市立本荘小学校1クラス



令和6年度出前講座実施

- 令和6年6月25日（火）…………… 坂井市立兵庫小学校15名
令和6年6月26日（水）…………… 坂井市立春江小学校95名、坂井市立鳴鹿小学校14名
令和6年6月28日（金）…………… 坂井市立雄島小学校37名

ふくい管路ニュース「第26号」の発行

関係団体に配布しました。

光硬化工法協会 管路更生工法の紹介

アルファライナー、アルファライナーH工法

光硬化型管更生工法のアルファライナーとアルファライナーH工法は、既設管路の空間を利用して管路内に新管を建設するものです。管渠は、新設から一定の年数が経過すると埋設環境や通水状況等によって劣化が進み使用に耐えられなくなります。定量的な年限で決まる訳ではありませんが、供用開始から50年が標準的な耐用年数とされています。改築や修繕のために掘り返して入れ直す多くの時間と労力が必要です。さらに発生する残土や舗装ガラ、廃棄管材などの処分以外に新たな資材も必要です。

管路更生工法は、既設管の空間を利用します。工事時間も入れ替え工事に比較できないほど短時間で終了します。光硬化工法は、更生材に光を照射すると硬化します。光照射がなければ数ヶ月の保存が可能です。光硬化工法協会では使用期限を3ヶ月間としています。予測していない事由で工事ができない時にも使用期間が長い光硬化工法更生材は対応できます。施工は、既設管内に更生材を引き込み空気圧で拡張して既設管に密着させた後に光照射装置を使って更生材を硬化させます。一連の作業は地上のオペレーターが種々のモニターを確認しながら操作します。使用装置に装備されたセンサー類からのデータは自動記録です。人の手を介さず記録されるために誤記入や書き忘れなどの心配はありません。

光硬化工法の工事時間は基本的に8時間です。標準的な下水道管の状態であれば口径φ600mmまでなら管路延長60mまでを1日で完成させます。

出来上がった更生管の性能は、施設の標準的耐用年数50年の間に一度受けることがあるかもしれないほどの地震動(これをレベル2地震動といいます)から起きる地盤の液状化にも耐え、もちろん下水道水に含まれる各種成分の影響や通行車両の荷重などにも耐えることができます。

写真は、工事中の装置操作状況と管内モニターの映像です。詳しい工法の紹介は下記二次元コードを携帯で読み込んでいただくと光硬化工法協会のホームページの「技術紹介」に接続してカタログをダウンロードできます。協会名をネット検索でも可能です。ご覧ください。



写真1：装置操作状況

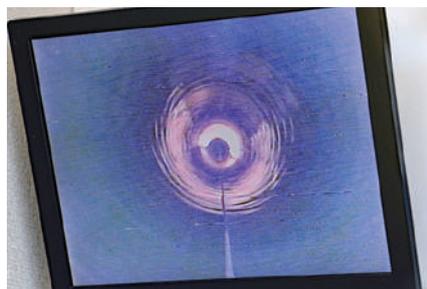


写真2：管内カメラからの映像



カタログダウンロード
二次元コード

光硬化工法協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10-3 TMSビル

TEL:03-5367-5173 FAX:03-3355-5786

URL:<https://www.lcr.gr.jp>



会員名簿

正会員

角谷木材建設株式会社

〒919-0603 福井県あわら市矢地2-28
TEL.0776-73-2667 FAX.0776-73-2647

株式会社キープクリーン

〒910-0006 福井県福井市中央1丁目19-21
TEL.0776-27-0586 FAX.0776-22-0586

株式会社クォードコーポレーション

〒919-0321 福井県福井市下河北町11-13
TEL.0776-38-3806 FAX.0776-38-6284

株式会社成和建設

〒910-0855 福井県福井市西方2丁目18-36
TEL.0776-23-0807 FAX.0776-23-6895

大北久保建設株式会社

〒911-0033 福井県勝山市栄町2-7-6
TEL.0779-87-1580 FAX.0779-87-3148

丹南開発株式会社

〒916-0146 福井県丹生郡越前町朝日5-17-1
TEL.0778-34-2334 FAX.0778-34-2674

敦賀環境整備株式会社

〒914-0812 福井県敦賀市昭和町2丁目10-12
TEL.0770-22-0358 FAX.0770-25-3627

東洋地工株式会社

〒910-0811 福井県福井市中藤新保町第2号50番地1
TEL.0776-53-5335 FAX.0776-53-5336

株式会社トミックス

〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813番地
TEL.0778-51-1321 FAX.0778-52-2961

株式会社ニシデ・コンストラクション

〒918-8078 福井県福井市更毛町11-22
TEL.0776-37-1127 FAX.0776-37-1707

西村建設株式会社

〒910-0122 福井県福井市石盛町816番地
TEL.0776-56-2822 FAX.0776-56-2823

株式会社ミルタニ工業

〒910-0844 福井県福井市長本町202番地
TEL.0776-53-5671 FAX.0776-53-5695

嶺南建設株式会社

〒914-0802 福井県敦賀市呉竹町2丁目12番24号
TEL.0770-25-6333 FAX.0770-23-5580

賛助会員

エスジーシー下水道センター株式会社

〒160-0008 東京都新宿区三栄町19番地 大久保ビル2F
TEL.03-3355-3951 FAX.03-3355-3796

株式会社カンツール名古屋営業所

〒452-0822 愛知県名古屋市中区小田井2-486
TEL.052-504-2321 FAX.052-504-3614

クリスタルライニング工法協会

〒467-0806 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂通8丁目9-1
TEL.052-918-2555 FAX.052-918-2556

株式会社サンワコン

〒918-8525 福井県福井市花堂北1丁目7番25号
TEL.0776-36-2790 FAX.0776-36-3300

積水化学工業株式会社

環境・ライフカンパニー西日本支店 北陸営業所

〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル
TEL.076-231-4245 FAX.076-231-1492

光硬化工法協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目10-3 TMSビル6F
TEL.03-5367-5173 FAX.03-3355-5786

ペンタフ株式会社

〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中1丁目7-10
TEL.06-6458-1231 FAX.06-6458-1221

ポリエチレンライニング工法協会

〒652-0866 兵庫県神戸市兵庫区遠矢浜町2-44
TEL.078-595-9492 FAX.078-595-9493